

2017年 BSCA シンポジウム 地中熱利用システムのコミッショニング in 東京

開催目的・主旨説明

建築分野では現在、今までにないレベルの省エネが求められています。再エネ活用も含めた複雑・高度なシステムがおのずと必要になりますが、そういったシステムを設計・施工するだけでは、その省エネ性を確実なものにしているとは言えません。コミッショニング(性能検証、Cx)は、システムの構築・運用にバインドすべき、実質的な省エネを手に入れるための次世代プロセスと言えます。

NPO 法人建築設備コミッショニング協会(BSCA)では、従来から日本における Cx プロセスの開発と普及に取り組んできましたが、最近では Cx を研究する段階から Cx をビジネスとする段階に移行しつつあります。Cx ビジネスには、太陽光発電、自然換気、潜熱分離空調、放射空調、自動制御といった具体的な先進システムにフォーカスした Cx の方法論が必要です。

このシンポジウムでは、Cx プロセスの中でも重要なマイルストーンである機能性能試験を視野に入れながら、地中熱利用システムのコミッショニングについて、貴重な知見をお持ちの研究者・実務者からの講演と、参加者の皆様を交えたディスカッションを行います。シンポジウム終了後には情報交換のための交流会を催しますので、併せて多数ご参加頂ければ幸いです。

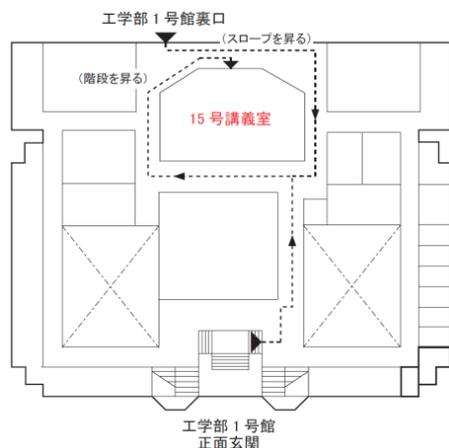
開催日時

2017年2月28日(火)、13:30~17:30(受付 13:00~)

開催場所

東京大学工学部1号館15号教室(東京都文京区本郷7-3-1)

[\(アクセス方法\)](#)



15号講義室(工学部1号館)へのアクセス

定員

150名(先着順)

参加費

会員 4000円、非会員 6000円、学生:1000円

* 会員とは、建築設備コミッショニング協会及び地中熱利用促進協議会の個人会員または賛助会員組織に属する者全ての方です。学生は、会員、非会員にかかわらず一律1000円です。

申込締切日

2017年2月21日(火)

主催 NPO 法人建築設備コミッションング協会 (BSCA).

共催 地中熱利用促進協議会 (GeoHPAJ)

協賛

(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)日本建築学会(予定)、(一社)建築設備技術者協会
(一社)建築設備総合協会、(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター、(一社)日本ビルディング協会
連合会、(一社)ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会、(一社)関西 ESCO 協会、建築エ
ネルギー懇話会

* 建築 CPD 制度認定対象プログラムとしての申請予定

【プログラム】(講演題目は仮)

13:30~13:35	主旨説明	赤司泰義(東京大学)
司会:住吉大輔(九州大学)		
<コミッションングにおける機能性能試験>		
13:35~13:55	(1)機能性能試験とは何か	上谷勝洋(東洋熱工業)
13:55~14:15	(2)機能性能試験におけるシミュレーション活用の可能性	富樫英介(工学院大学)
14:15~14:35	(3)機能性能試験の実際(京都駅ビル)	松下直幹(アレフネット)
14:35~14:45	質疑応答	
14:45~14:50	休憩	
司会:富樫英介(工学院大学)		
<地中熱利用システムのコミッションング>		
14:50~15:10	(1)地中熱利用システムの現況	笹田政克 (地中熱利用促進協会)
15:10~15:30	(2)地中熱利用システムの設計と施工	小野永吉(鹿島建設)
15:30~15:50	(3)IKEA 福岡新宮の地中熱利用システムのコミッションング	金田一清香(広島大学)
15:50~16:10	(4)YKK 黒部工場の地中熱利用システムのコミッションング	住吉大輔(九州大学)
16:10~16:20	質疑応答	
16:20~16:30	休憩(PD 準備)	
コーディネータ:赤司泰義(前出)		
16:30~17:20	パネルディスカッション	パネラー:講演者7名(前出)
17:20~17:30	閉会のあいさつ	吉田治典 (建築設備コミッションング協会)

12. 技術交流会

17:30~19:00(会場入口のホワイエで簡単な立食)